

## 学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成29年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立春日部特別支援学校	Cグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	児童生徒・保護者・地域の期待やニーズを把握するために、アンケートやアセスメントを実施している。学校の置かれた状況や児童生徒の実態を把握・分析して、今日的課題にも十分対応する学校像となるよう工夫できると更に良い。
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	目指す学校像や地域の期待、児童生徒の実態を踏まえ、重点目標が設定されている。学校の取り組むべき課題を明確にし、課題の解決に向けて、更に具体化・重点化した内容にすることが望まれる。
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	重点目標の達成に向けて分掌・学部等が連携して取り組んでいる。学校全体と分掌等の「重点目標、評価項目、具体的方策」が同じ方向の内容となるよう組織間の連携を強化し、学校自己評価システムを十分機能させて、教職員全体が参画するように更に工夫していただきたい。
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	評価運営委員会で方策を策定し、詳細に中間評価を行いながら、課題の解決のために取り組んでいる。評価指標については、やや抽象的であり、方策の達成状況を評価するものとは必ずしもなっていないため、連鎖をより明確にして取組を検証することが望まれる。
	校長的的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長は教職員一人一人を的確に生かし、組織力を高めることに努めている。学校全体が教育活動の状況を把握し、学校自己評価システムを生かした学校運営に取り組もうとしている。更に共通理解を深め、目標の達成を目指すことが期待される。
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	保護者アンケートなどを実施し、取組を検証するための情報収集に努めている。アンケート結果や学校関係者の意見等を分析して、目指す学校像の見直しや重点目標の精選などに活用するとともに、学校改善に向けて全校教育課程委員会などの組織を十分生かし、学校全体と分掌・学部等を連携させ、より組織的なPDCAサイクルを確立していただきたい。
特記事項		